

特別委員会における質疑回答について

資料 1

1 第1回特別委員会（総論、基本構想、基本計画重点プロジェクト）3月27日

NO	委員名	ページ	質疑内容	回答
1	氏家委員	全体	審議会でどのような意見が出ていたかを把握したうえで、議論を進めるため資料を提供してもらいたい。	・策定委員会、審議会の議事録を後日、提供します。
2	広地委員	基本計画 P29	基本計画重点プロジェクト「地域経済活性化プロジェクト」の指標に「町内事業者数」や「製造品出荷額等」の指標を追加してはどうか。	・ご指摘あった指標は分野別計画の中で示しています。
3	貳又委員	総論 P7	総論「まちを取り巻く状況」にSDGsの推進とあるが、この考え方は個別施策にまで反映されたものとなっているか。他市町の動向を見ながら取り組むのではなく、先駆的な独自の取り組みをしていくべきではないか。	・SDGsの概念を踏まえ、計画を推進していきます。また、本町独自の取組みとして、多文化共生のまちづくりを推進していきます。
4	小西委員	総論 P7	総論「まちを取り巻く状況」にSDGsの推進内の図が見つらいので工夫してほしい。	・冊子印刷時に図表が見やすくなるよう修正します。
5	西田委員	全体	パブリックコメントの実施結果について、資料を提供してもらいたい。	・パブリックコメントの実施結果を後日、提供します。
6	西田委員	総論 P7	SDGsについて、総論の記載した図のみでは分かりにくい。補足説明が必要である。	【修正】P7の「SDGsの推進」の中に具体的な取組みを追記します。
7	大淵委員	総論 P2 基本構想 P17	（P2）総合計画がより多くの町民に読まれ、理解されるためには、今までの計画を踏襲するだけでは不十分ではないか。 例えば、総論で「食育防災センター」や「ウポポイ」の記載があるが、「町立病院の改築」については記載がなく、第6次の計画期間で町が何をするか分からない。総論は概要が記載される場所ではあるが具体的なことを記載するべきではないか。 （P17）人口については現状分析や将来目標が設定されているが、財政の状況は推計等がされていないため、人口とともに縮小しなければならない事業が見通せない計画になっている。	・計画期間に取り組むことを町民に広く周知するため、概要版を作成します。 ・具体的な取組みは今後策定する実施計画の中で示します。また、財政計画と連携を図りながら、実施計画を推進していきます。

2 第2回特別委員会（基本計画分野別計画、計画の実現に向けて）4月10日

NO	委員名	ページ	質疑内容	回答
1	西田委員	基本計画 P86	「4-1産業連携・雇用」の成果指標「立地企業件数」は、「町内全体」の件数か、それとも「工業団地」の件数か。	・立地企業件数は町内全体の件数で設定しています。
2	前田委員	提出資料	第1回策定委員会の要旨の中で、総合計画の策定方針に対し、学識経験者の意見として「人口減少・少子高齢化の背景をしっかりと捉えた方針であり問題ない」と記載されているが、何を根拠としているのか。	・社人研推計に準拠した考え方（人口減少の抑制）を根拠としています。
3	前田委員	提出資料	総人口目標の積み上げ根拠に定住意向や完全移住者数はどう関係するのか。	・総人口目標の積み上げ根拠は、社人研準拠推計値（低位）に人口減少対策分を加えたものです。
4	佐藤委員	提出資料	第5次総合計画の評価分析について結果があるが、分野ごとの結果と第6次で掲げた指標との比較はできないか。	・第5次には分野指標がないため、第6次とは比較できません。
5	広地委員	基本計画 P38	最近では民間団体と防災協定を締結する動きがみられるが、「1-2-2地域防災力の向上」の文中に民間団体の活力を追記してはどうか。また、文中の共助の精神について考え方を聞きたい。	【修正】P39の1-2-2「地域防災力の向上」の中に民間との共助の視点を追記します。
6	広地委員	基本計画 P40	ウポポイの開設は、救急業務だけではなく、消防業務にも影響する。特に、慰霊施設や博物館本体など、高層建築物の火災に対応した設備（はしご車）の導入なども考えられるのではないかと。町としてもウポポイ火災に対応した資機材の見直しや人的な訓練等が必要になってくるのではないかと。	・ウポポイの防火対策は国で対応します。町では計画的な資機材等の整備、人材育成等を推進していきます。
7	貳又委員	基本計画 P32	★重点プロジェクト選定の考え方について、P25説明文の中では重点的かつ分野横断的に推進するとあるが、P32を見ると偏りがあるように見える。	・重点プロジェクトは、人口減少抑制プロジェクト、地域経済活性化プロジェクトに資する基本事業を抽出して設定しています。

NO	委員名	ページ	質疑内容	回答
8	貳又委員	基本計画 P42	環境美化・衛生の基本計画内に、SDGsの推進についての記載がないように見えるが、基本計画内でどのように推進していくのか。	・今後、基本計画の見直しにあわせて、SDGsの理念を組み込むよう検討していきます。
9	及川委員	基本計画 P38	「1-2 防災・減災」の中の現状と課題で、防災マスター会の取り組みを明記しているが、基本事業「1-2-2 地域防災力の向上」の中では明記していない。この点について追記することはできないのか。	【修正】P39の1-2-2「地域防災力の向上」の中にしらおい防災マスター会との連携の記述を明記します。
10	西田委員	基本計画 P82	「3-6 人権」の成果指標について、目標値を35%と掲げているが、人口減少社会において女性の社会進出は大変重要であり、世界的には50%と掲げられているため、目標値を50%にしてはどうか。	【修正】女性の社会進出の重要性と世界的な潮流、並びに国の男女共同参画計画における成果目標値を鑑み、P82の成果指標「各種審議会等における女性の登用率」の目標値を50%に改めます。
11	佐藤委員	基本計画 P87	「関係人口」について、資料編の中で用語解説されているが、おためし暮らしなど例示をまじえ、分かりやすく解説してはどうか。	【修正】P127の「関係人口」の中に例示を追記します。
12	前田委員	基本計画 P94	「4-5 農林業」「4-6 水産業」の成果指標について、一方では「従事者数」を掲げ、もう一方では「就業者数」を掲げているため整合性が図られていない。是正すべきである。	【修正】P94 農林業と P96 水産業の成果指標について整合性を図るため、「従事者数」で統一します。なお、水産業従事者数については、これまでの推移から減少傾向にあるため、維持型の目標設定としております。
13	前田委員	基本計画 P90	「4-3 商工業」の成果指標「製造品出荷額」について、目標値は現状値より増加しているが、道や国全体の見通しと整合性は図られているのか。また、「製造品出荷額」は町民一人あたりの所得額とも関連する値であるが、整合性は図られているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の出荷額の推移をみると道・本町ともに減少傾向にありましたが、近年では進出企業等による出荷の伸びにより上振れしていることから、現状値よりも高い目標設定としています。 ・町民一人あたりの所得額には、製造業従事者以外の所得額も含まれていることから、他業種の影響により関連性は弱くなります。

NO	委員名	ページ	質疑内容	回答
14	西田委員	基本計画 P90	「4-3 商工業」の中に製造業の記述がない。製造業は本町の基幹産業であるため、追記していただきたい。	【修正】P90の現状と課題の中に、製造業の視点を追記します。
15	大淵委員	全体	基本計画をすべて読み、理解するのは難しい。町が今後8年間で何を目玉とするのかを基本方針の中で明示するなど、町民のわかりやすい具体的な計画の項目が必要である。	・具体的な取り組みは今後策定する実施計画の中で示します。
16	前田委員	基本計画 P107	総合計画の実行性を高めるためには、行政改革大綱と財政健全化プランとの一体的な運用が重要であると考えますが、具体的にはどう流れていくのか。	・横連携のプロジェクトを組織し、行政改革大綱と財政健全化プランとの一体的な運用を図っていきます。
17	前田委員	基本計画 P107	次期財政健全化プランの策定に向けた工程を明確に示してほしい。	・次期財政計画の策定工程ですが、現在、策定方針、作業スケジュール及び計画の構成等について担当課での検討を開始しており、成案化は議会での議論を通じて今年度末を予定しています。
18	貳又委員	基本計画 P106	国では総合戦略において、政策間連携（移住・子育て等）、PDCAサイクルの運用、地域が取り組むべき施策（創生交付金事業）について示しているが、第6次総合計画ではどのように整理されているか。	・総合計画ではプロジェクトチームによる分野間の連携強化と、成果指標に基づく効果的なPDCAサイクルの実行により、計画を推進していきます。
19	長谷川 委員	全体	SDGsの17の目標を教育や福祉も含めた各種施策にリンクさせることはできないのか。	・今後、基本計画の見直しにあわせて、SDGsの理念を組み込むよう検討していきます。
20	西田委員	基本計画 P54 資料編 P130	用語解説の解説文中にも解説が必要な単語（カタカナ語）が散見されることから、解説文を見直してもらいたい。 ※レセプト、ドアツードア（アクセス）、地域情報化	【修正】P54の現状と課題の中に、地域情報化の説明を追記します。P130の「データヘルス」のレセプトの説明を追記します。P130の「ドア・ツー・ドア」の用語解説を見直しします。
21	大淵委員	全体	人口減少が進む中、総合計画の実行性を高めるためには、財政面だけでなく、福祉や文化・スポーツなど、役場以外のまちの組織のあり方についても検討が必要である。	・行政改革大綱と財政計画を踏まえ計画を推進していきます。

3 第3回特別委員会（回答及び全体意見）4月24日

NO	委員名	ページ	質疑内容	回答
1	前田委員	提供資料	資料1の6について、高齢化や生産年齢人口減の中で、出荷額が増えても所得が上がるのか。予想の分析精度はあるのか。	<ul style="list-style-type: none"> 近年、出荷額は増加しておりますが、今後の人口構造を考えると所得額の向上は厳しいものと捉えております。しかしながら、ウポポイの開業等、プラス要素もあることから期待値として所得額を設定しております。
2	前田委員	提供資料	資料1の8について、財政プランの工程を明確にして、計画との整合性を図っていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 財政計画と行革大綱をすり合わせながら、実施計画との整合性を図っていきます。
3	貳又委員	基本計画 P32	重点プロジェクトの基本事業に選定の偏りがある。見直しを求めたが回答済みとなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 重点プロジェクトの基本事業は、人口減少抑制と地域経済活性化に資する事業を抽出したものであるため、ご理解願いたい。
4	西田委員	基本計画 P32	病院は活性化にも人口抑制にも重要な施設である。なぜ重点プロジェクトにならないのか。これらの意見を正副委員長案に盛り込んでいただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 病院については様々検討してきており、過小評価はしておりません。
5	大淵委員	全体	町民に寄り添った計画にならないか。大型事業を明確にする計画にして財政対応していく。概要版に入るなら本編でもよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ご質問の意図は十分に受け止めておりますが、作り直すことはできません。
6	松田議長	全体	第6次計画は第5次計画の続きでしかない。インフラ整備から縮小へ。目玉は何か。計画に載らない事業はどうするのか。事業を進める病院も明確でない計画とは。人口は減るがどのようなまちをつくっていくのか分かる計画をつくる必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ご質問の趣旨を大事にし、特別委員会での意見を真摯に受け止め、計画を推進していきます。